

自治研活動をスタートさせたいのですが、 何から始めればいいのか？

回答
自治研マイスター

はじめに質問者の方にお聞きします。
「あなたはなぜ自治研をスタートさせた
い」のですか？

仕事について何か変えたいことがあるのでしょうか？ 日々
の生活や地域のなかで具体的な困り事・課題があるのではし
うか？ そうであるならば、あなたこそ自治研を始めるべき人
です！ まずは仲間を集め、そのメンバーと活動の企画を練
りましょう。たとえば、テーマに沿った学習会を開くとか、先
進地の事例を研究するとか、どんなことからでもOKです。

自治労のHPには、全国の活動事例（レポート）が紹介され
ているので参考になるでしょう。企画案ができれば、身近な
自治労の組合に協力を求めましょう。組合に自治研担当がな
い場合は、県本部に電話してみましょう。県本部には自治研
の推進担当者がいますので、きつと相談にのってくれます。

「いや、自分はやりたいことがないので、自治研の担当
者になってしまつて」。そういう場合もあるでしょう。

でも、あなたが何かを始める必要はまったくありません。あ
なたのやるべき仕事はただひとつ。やる気のある組合員が自
由に自治研に参加し活動ができるようサポートすることです。

「自治研に対して、組合員が興味を持ってくれない」、「担
い手が見つからない」とはよく言われることですが、さてどう
でしょう。あなたの組織自体が自治研を役員中心の活動と捉
えたり、外部に門戸を閉ざしたりしていないでしょうか？

たとえば、一般の組合員から右記のような相談があった場
合、組織として十分なサポートができるでしょうか？ 相談
が来るように、加盟単組や職場にアンテナを張っているでし
ょうか？ 日頃から、やる気のあるメンバーを見つけてくる
努力をしているでしょうか？

「自治研」、それ自体は単なる手段です。大事なことは課題
・問題を見つけ、それに粘り強く向き合っていく現場の活動
自体にあります。そうした活動をいかにサポートできるかが、
今後の自治研推進にとつての試金石ではないでしょうか。

事例 負担にならず、楽しく 活動できるようにサポート

組合員からの「自治研を始めてみた
い」という声にどう対応していますか？

数年前に地域活性化専門部会の方か
ら、同じ相談を受けました。難しく考えず
に、職場には仕事・対人関係などの悩み
を抱えている人、まちづくりや地域活動
に一步踏み出したくてもきつかけがつか
めない人が必ずいるはずだから、今の業
務のあり方を考える「職場自治研部」と、



地域活性専門部会の視察の様子

まちづくり
や地域活性
化に興味の
ある人を集
めて「地域
自治研部」
から始めて
みることを
勧めました。
仲間集めの

ため部員の募集ピラを庁舎内で配布した
ところ、約三〇人の申し込みがあったよ
うです。

「まもなく四月で新しく組合に入つて
くる方もいますが、自治研活動の紹介や
勧誘はどのようにされていますか？」

大分県本部では、「新入組合員学習会」
で自治研活動の紹介と、単組では自治研
推進委員を通じた紹介を行っています。

「大分では専門部会を設け自治研を推
進していらいっしやいますが、部会に参加
してもらおう委員を募集するにあたり、工
夫がありますか？」

専門部会を設置して八年になります。
まだ課題はあるものの、今では部会員が
交代時に自分の部会のテーマに興
味を持ってきてくれる後輩や
同僚を紹介してくるようにな
りました。最初は、組合役員
にこだわらず専門部会ごとに
該当職場の職員（とくに自主
的に地域活動などに参加してい

る人）の選出をお願いしました。あわせ
て自治研を通じた人材育成・組織強化の
観点でも選出をお願いしています。

「新しく自治研に参加された方には、
その後どんな関わり方をされますか？」

他自治体の職員やNPO、市民団体の
方との意見交換・交流がはかられるよう
心がけています。また専門部会のテーマ
設定も、皆で話し合い、職場や仕事の悩
み・興味を持っていることなど多くの人
が関われるようにしています。とにかく、
難しく考えたり負担になつたりしないよ
う、楽しく活動することが一番だと思
います。（回答者 大分県自治研センター事
務局長 佐藤俊生）

自治研ということが難しく
考えられがち。普段の悩みの
共有から何か始まるかも。
そして活動するうえで、
楽しめるかどうかは
大事な要素だワン。

